

9:00~10:10 開会式・総会 A会場(大講義室)

研究発表II

	A会場(大講義室)	B会場(101講義室)	C会場(102講義室)	D会場(201講義室)	E会場(206講義室)	F会場(208講義室)	G会場(209講義室)
10:25 ~ 10:55	グスタフ・クリムト作『死と生』の鑑賞(中学3年生)における、美的特性の感受と主題感受の調査研究  立原慶一(宮城教育大学)	島根県師範学校附属幼稚園保育科における図画教育  牧野由理(城西国際大学)	横浜山手中華学校とアジアの美術教育の展望  王節子(横浜山手中華学校教諭) 穴澤秀隆(NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事) 宮脇理(Independent Scholar/元・筑波大学教授)	日本のODAにおける美術教育 ー現職教員派遣の有効性ー  山田猛(東京学芸大学附属竹早中学校)	小規模美術館による社会教育活動の実践II 「赤崎水曜日郵便局」  楠本智郎(つなぎ美術館)	思考の連続性を促す指導・環境づくりの工夫  古鎌幸一(愛媛大学教育学部附属小学校)	イスラム世界における美術教育  箕輪佳奈恵(筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻)
11:00 ~ 11:30	20世紀後半以降の美術教科書における「国際化」題材に関する研究 ー東西美術の交流からデジタル教科書の出現までー  山口喜雄(宇都宮大学)	描出視線経路へ感情語を記入する鑑賞教育方法 ー鑑賞文と構図決定格子への接続ー  金子一夫(茨城大学)	対話による鑑賞活動における経験・語り・知覚の生成過程  本間美里(兵庫教育大学連合学校教育学研究所/港区立御成門小学校) 松本健義(上越教育大学)	国吉康雄と対話する・国吉康雄で対話する ー『ベネッセアートサイト直島の原点ー国吉康雄展』と『国吉祭2013』における対話型鑑賞の展開と可能性ー  森弥生(関西福祉大学非常勤講師) 江原久美子(公益財団法人福武財団国吉康雄プロジェクト)	総合大学におけるドローイング授業実践の効果の検討: アンケートと眼球運動実験から  石黒千晶(東京大学大学院教育学研究科) 八桁健(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所) 小澤基弘(埼玉大学教育学部) 岡田猛(東京大学大学院教育学研究科)	中学生を対象とする文章記述を用いた美術鑑賞教育の指導に関する一考察  佐藤絵里子(筑波大学大学院)	造形活動における知的障害児のコミュニケーション成立条件に関する一考察  森芸恵(筑波大学附属大塚特別支援学校)
11:35 ~ 12:05	図画工作・美術科の授業における教師の発話に関する実践研究IV ー深沢アート研究所「こども造形教室」と図画工作・美術科の授業の比較からー  大泉義一(横浜国立大学) 山添joseph勇(深沢アート研究所)	ブラチナ・トーク<特別招待発表> 芸術(美術・工芸)教育は人口に膾炙されているか  宮脇理(Independent Scholar/元・筑波大学教授) 山本朝彦(鳴門教育大学)	協働的表現行為と生命的なく場>の成り立ち  三益美千郎(珠洲市立飯田小学校) 松本健義(上越教育大学)	日韓のアニメーション比較  韓希暎(茨城キリスト教大学(非))	「共感性」は図画工作の授業の中でどのようにあらわれているのか  伊藤龍豪(川崎市立南生田小学校・横浜国立大学大学院教育学研究科)	美術館連携による校外実践型教育と校内通常授業との相互関係における考察 ー海外アーティストとのコラボレーション制作を実施してー p.00  竹内千恵(愛知県立愛知工業高等学校)	

昼休み(大学食堂 営業)

研究発表III

13:00 ~ 13:30	ロベール・カンパン「メロデー祭壇画(1425-30年頃)」の読解的鑑賞の提案  岡田匡史(信州大学)	多校種にわたるデカルコマニー実践の試み(1)~幼児と小学生の描画行為の比較~  大島孝明(富山大学人間発達科学部附属小学校) 隅敦, 鼓みどり, 上山輝, 若山育代(富山大学) 萩原至道(富山大学人間発達科学部附属中学校) 米崎瑛美, 林智子(富山大学人間発達科学部附属幼稚園)	戦後民間美術教育運動と「美育文化」  穴澤秀隆(NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事)	教育政策におけるカリキュラムの統合原理と美術科教育  藤原智也(倉敷市立船穂中学校)	テート・ブリテン 家族向けプログラム「リミナル」の実施/評価の報告  酒井千波(テート・ギャラリー)	肢体不自由の生徒における共同制作の有用性 ー屏風制作を通してー  小原智史(静岡県立西部特別支援学校)	児童の絵の評価に関する研究I ー教員養成系大学の学生に対する評価アンケートの分析からー  八桁健(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究所) 萩生田信子(埼玉大学)
13:35 ~ 14:05	乳幼児造形から小学校教育への接続と展開 ー生活と学びの土台をつくる造形の遊びー  丁子かおる(和歌山大学)	「チャイルドカルチャーデザインの研究」 ーキッズカフェ・デザインプロジェクトー  春日明夫(東京造形大学)	戦後美術教育における東京都図画工作研究会の活動  辻政博(帝京大学) 穴澤秀隆(NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事) 宮脇理(Independent Scholar/元・筑波大学教授)	中学校美術科におけるクロスカリキュラムの構想と実践 ー国語科教材とつながる鑑賞領域の事例としてー  小浜かおり(徳島県那賀町立鷺教中学校)	他者の視線を参照して表現主題文を設定した自己像制作 ー自己の視線のみによる制作との比較を中心にー  中川知子(茨城県つくば市豊里中学校) 有田洋子(島根大学) 金子一夫(茨城大学)	シュルレアリスム展における体験的な取り組みについて ー学校等への拡がりを中心としてー  亀井幸子, 友井伸一(徳島県立近代美術館)	感性の発揮を促す題材の工夫  平尾真治(愛媛大学教育学部附属小学校)
14:10 ~ 14:40	美術教育における学習観と表現指導における協同学習の機能  上山浩(三重大学)	ブラチナ・トーク<特別招待発表> 子どもの絵の表現の発達 の道筋 図式期から写実の黎明期・写実期について  東山明(神戸大学名誉教授)	美術館を拠点とした学校・地域の連携プログラム ー「なつやすみの美術館」展を題材にー  青木加苗(和歌山県立近代美術館)	幼児と小学校低学年児童による絵画を使った「物語作り」  若山育代(富山大学) 森敏昭(広島大学)	長澤蘆雪「龍虎図」の鑑賞実践に関する考察  保富仁之(和歌山県立田辺高等学校)	美術館における「ティーチャーズ・ワークショップ」 ー段階的な作品理解の試みー  山田敦子(半田市立半田中学校)	

15:00~17:40 シンポジウム「美術科教育における コミュニケーション, ことば, 言語活動」(大学講堂)

18:00~20:30 懇親会(大学内・山田ホール)